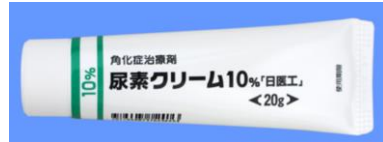


尿素クリーム



《角化症治療剤》

この塗り薬は皮膚をやわらかくする効果があります。
1日2～3回（朝、入浴後など）を目安に
手や足の裏に塗りましょう。
特に、固いところ・カサカサしているところには
念入りに塗って下さい。

傷口のあるところに尿素クリームを塗ると
しみることがあります。
傷口には塗らないようにして下さい。



ヘパリン類似物質 油性クリーム



《保湿剤》

この塗り薬は、皮膚の乾燥を防ぎ、
保湿の効果を高めるお薬です。

1日3～4回を目安に手や足の裏に塗って乾燥を
防ぎましょう。

もし手足に皮膚症状が出現したら、
多くの場合、ステロイドの塗り薬を使用します。
ステロイドには、炎症や痛みを抑える作用があります。

角化症治療剤・保湿剤も続けて使用します



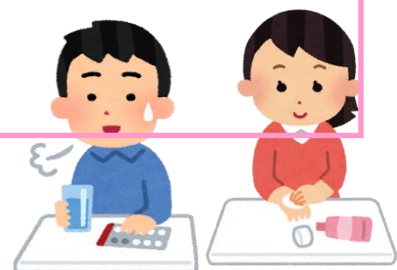
アンテベート軟膏



1日2～3回（朝、入浴後など）を目安にひび割れや水泡などの
症状や痛みのあるところに塗りましょう。
べたつかない程度に薄くのばして下さい。

*症状によっては使用する薬剤が変わることがあります。

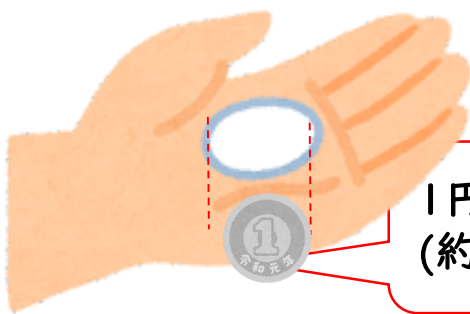
*症状により、痛み止めや痒み止めの
飲み薬を使うこともあります。



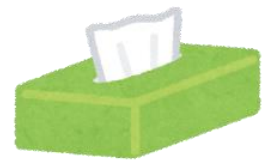
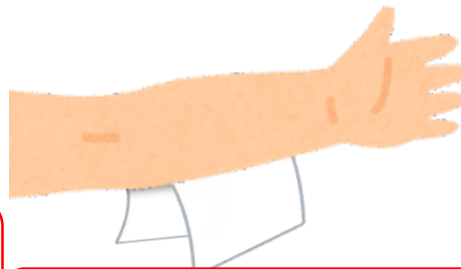


塗り薬の適正使用量とか、
コツを教えてください。

適正使用量は塗り薬の種類によって異なります。
保湿剤でローション剤を使う場合、
手のひら2つ分の広さを塗るのに、1円玉大の量
が必要になります。塗る場合は刷り込まず、
皮膚に乗せるようになじませながら塗りましょう

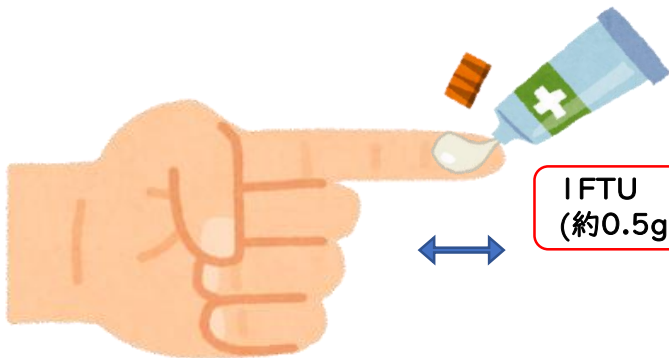


1円玉大
(約0.5g)



ティッシュペーパーが
くっついて落ちない程度が目安になります

ただし、担当の先生から指
示がある場合は
それに従ってください。



1FTU
(約0.5g)



軟膏を使う場合は、1FTU(ワンフィンガーチップユニット)が
目安になります。大体大人の人差し指の先から第一関節まで軟膏を
出した量になります。(上の図を参照)軟膏の場合も、擦り込まず
患部に乗せるようにして塗りましょう(塗布)

塗り薬は、1日2回、朝・入浴後に塗ることが効果的とされています。
1日2回が難しい場合は、最低入浴後に塗るようにしましょう。
入浴することで古い薬剤を洗い落とすことができ、より効果的です。